令和４年５月 23 日～５月 29 日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況
及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について
（令和４年度第４報）

１．全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

５月 23 日～５月 29 日の６都市(注１)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、「注意」を示す 21 以上 25 未満となりました。６都市の 10 年間平均値と比較すると、常に高く、25 日は２以上高くなりました（図１、表１参照）。

11 都市(注２)で東京、名古屋、高知、福岡で「警戒」を示す 25 以上 28 未満、沖縄で「厳重警戒」を示す 28 以上 31 未満となる日がありました（表１、表２参照）。

全国を見ると、東北地方以南で 25 以上、奄美・小笠原地方では 28 以上、沖縄地方では 31 以上となる日がありました。

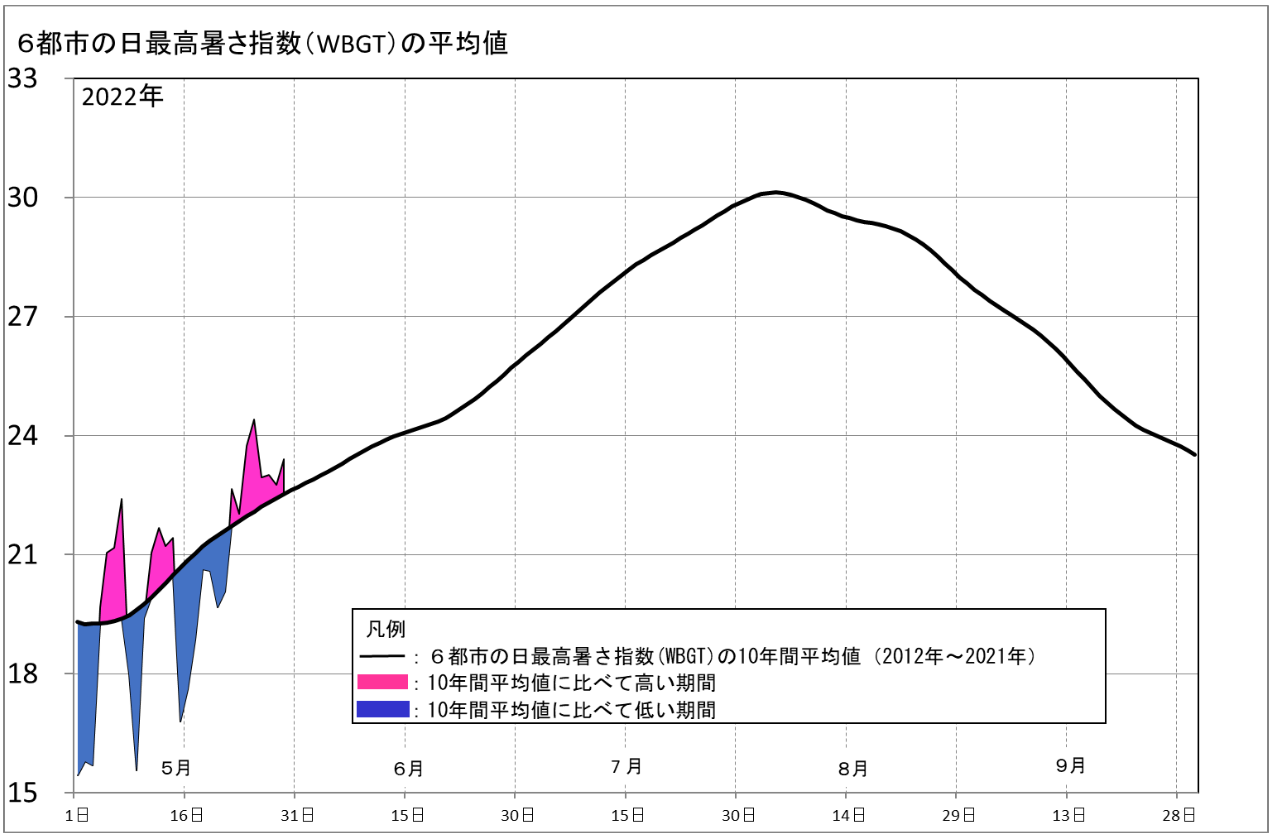


図１　全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去 10 年間平均値との比較

表１　全国 11 都市(注２)の日最高暑さ指数(WBGT)（５月 23 日～５月 29 日）(注３)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市平均
23	19.3	18.0	19.5	23.2	21.7	22.1	22.1	23.5	23.6	22.7	23.0	22.0
24	18.8	21.4	20.9	24.6	24.5	23.8	22.6	25.0	26.0	24.9	26.1	23.7
25	21.5	22.4	23.8	23.8	25.2	24.8	23.0	24.8	25.9	24.7	27.1	24.4
26	22.2	21.6	23.8	23.8	23.5	23.7	20.4	23.4	22.5	23.3	26.0	23.0
27	16.9	20.6	21.3	25.3	24.6	23.6	21.8	25.1	21.5	24.0	23.1	23.0
28	16.1	19.6	19.7	25.3	23.7	22.4	22.7	24.4	22.8	22.5	27.0	22.8
29	14.5	23.3	21.7	26.2	24.3	24.0	21.3	25.5	22.9	21.9	29.7	23.4

注１　６都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市
注２　11 都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市
注３　表１、表２の値は速報値であり、年度末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表２　全国 11 都市の５月 23 日～５月 29 日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注３)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
25以上	0	0	0	3	1	0	0	4	9	0	40

ほぼ安全	注意	警戒	厳重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

２．６都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

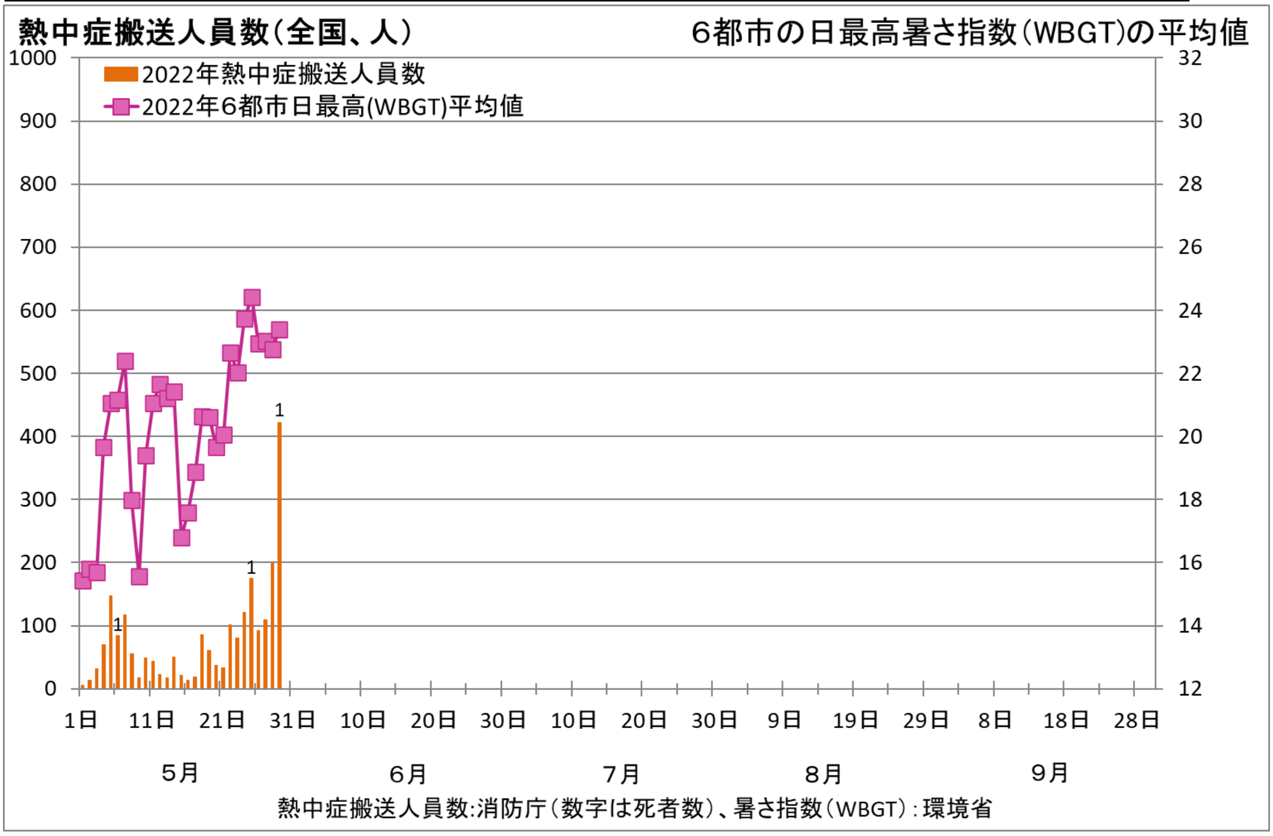


図２　６都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と熱中症搬送人員数の推移

５月 23 日から５月 29 日までの６都市(注１)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、「注意」を示す 21 以上 25 未満となりました。（表１、図１）。

消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送人員数は、５月 29 日の 422 名が最高で、この期間の総数は 1,198 人（死者２名含む）となりました（図２）。

３．全国の熱中症警戒アラートの発表状況

５月 23 日から５月 29 日までの熱中症警戒アラート発表状況は、５月 29 日に沖縄八重山地方に、今年、全国で最初のアラートが発表されました（表３）。

表３　全国の熱中症警戒アラート発表状況（５月 23 日から５月 29 日）

地方※1	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均※2	0	0	0	0	0	0
のべ回数	0	0	0	0	0	0
地方※1	中国	四国	九州北部※3	九州南部・奄美		沖縄
域内平均※2	0	0	0	0		0.3
のべ回数	0	0	0	0		1

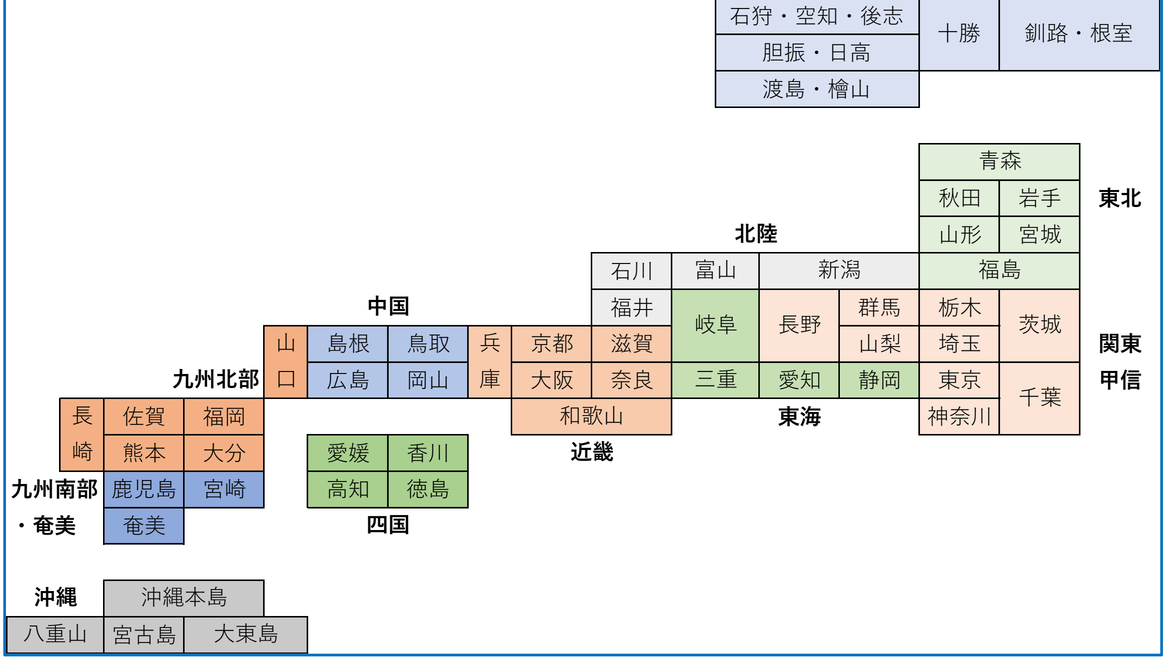
※１：気象庁の地方予報区単位（別図参照）
※２：「地方内府県予報区の１週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」
　　回数は前日 17 時、当日５時どちらかの発表で１回とカウント
※３：九州北部には山口県も含まれる

４．今後の見通しと注意点

６月３日までは、北陸地方以南では「警戒」を示す 25 以上、関東地方以南で「厳重警戒」を示す 28 以上、沖縄地方で「危険」を示す 31 以上になる地点がある見込みです。

気象庁の週間天気予報（６月１日発表、予報期間：６月２日～６月８日）によると、「最高気温は、期間の前半は平年並みか平年より高い日が多い見込みですが、後半は平年より低い日が多い見込みです。最低気温は、平年並みか平年より低い日が多い見込みです。」となっております※4。

※４：全国の地方週間予報から気温予報の概要を編集。詳しくは気象庁ホームページの最新情報を参照願います。

〇気温変化が激しい状況が続いております。体が変化に順応できない中で、急に気温・湿度が高くなる日もありますので、熱中症には十分お気を付け下さい。特に体調の変化に気付きにくい高齢者や子どもさんには、積極的な声かけ等をお願いいたします。

別図：気象庁の地方予報区・府県予報区の区分について
（気象庁提供図を補足）